



# 日常治療としてのHDF療法②

松江腎クリニック

2003年中国腎不全研究会で発表

演者 草刈万寿夫

# 治療目標

1. 苦痛のない生活
2. 苦痛のない透析

## 透析量の目標

1. BUNの前値を70mg/dl未満,  
あるいはKt/Vが1.2~1.6
2.  $\beta$  2MGの前値を20mg/l未満,  
あるいは後値を5mg/l未満

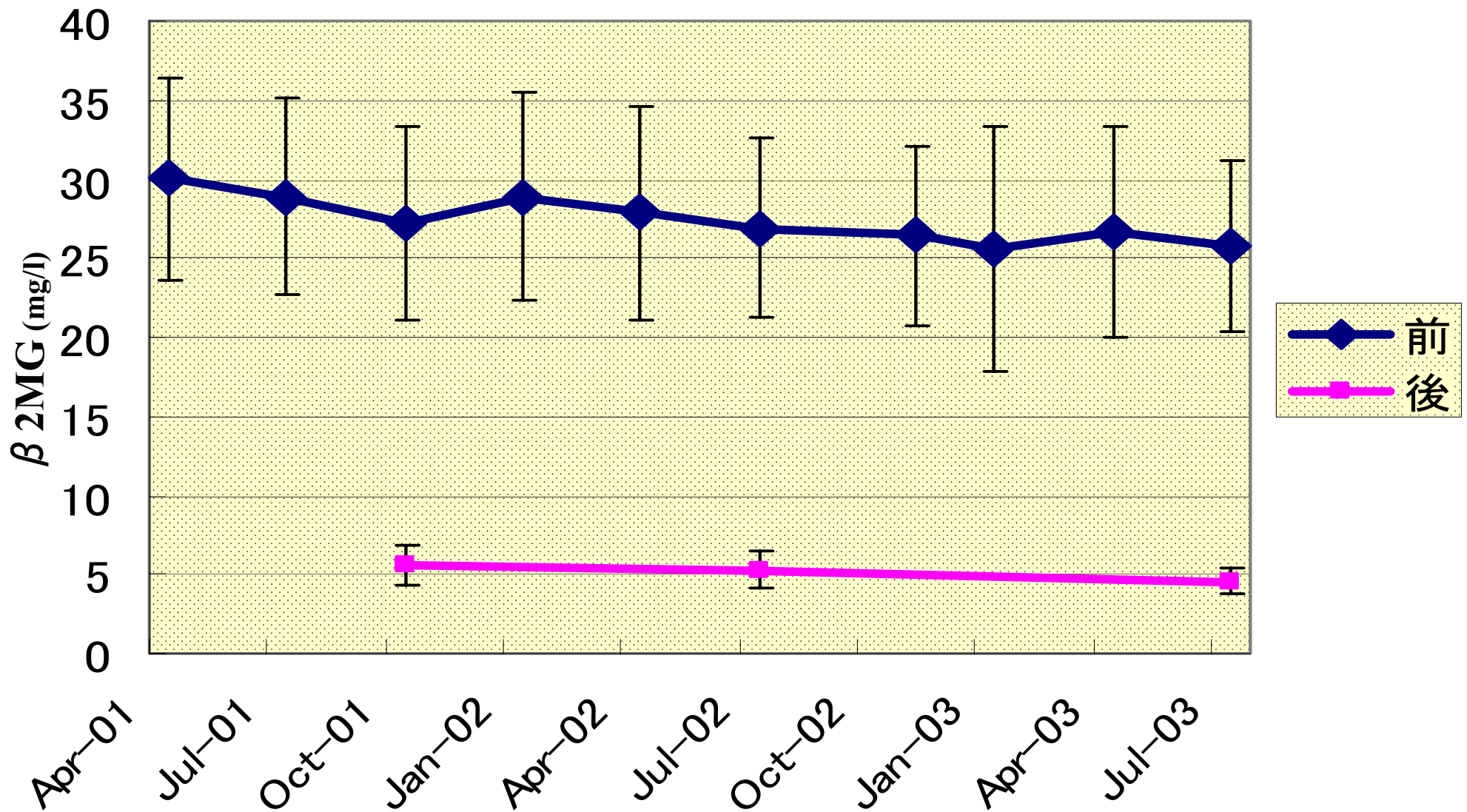
# 対象患者

- 前希釈HDFを6か月以上継続している26名  
(男15名, 女11名, DM:5名)

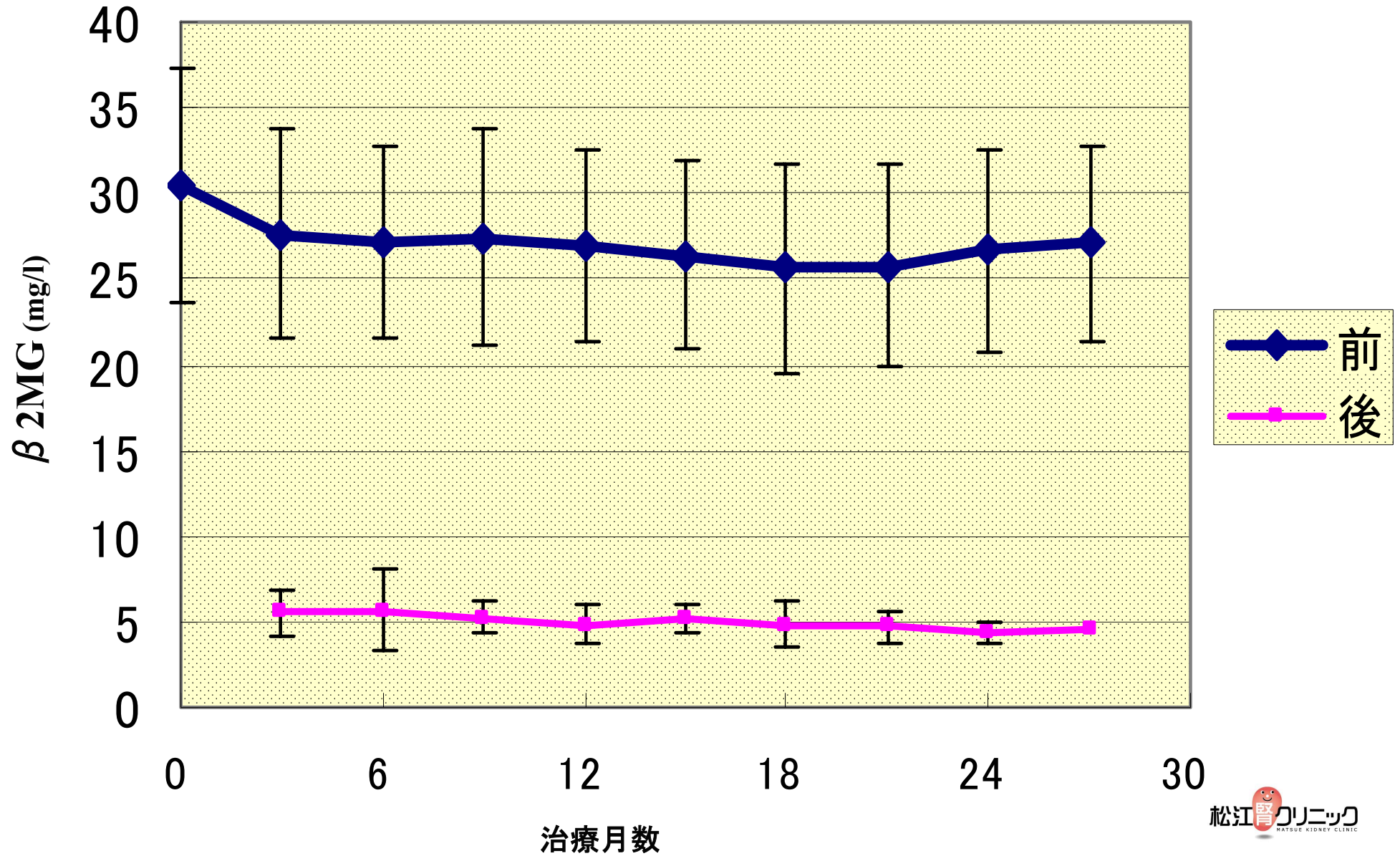
2003年7月末

	最小値	最大値	平均	標準偏差
年齢(Y)	34.5	83.5	60.5	11.9
透析暦(Y)	0.5	29.2	9.6	8.9
当院でのHDF暦 (Y)	0.5	2.3	1.8	0.5
DW(kg)	34.5	72.3	55.3	10.4

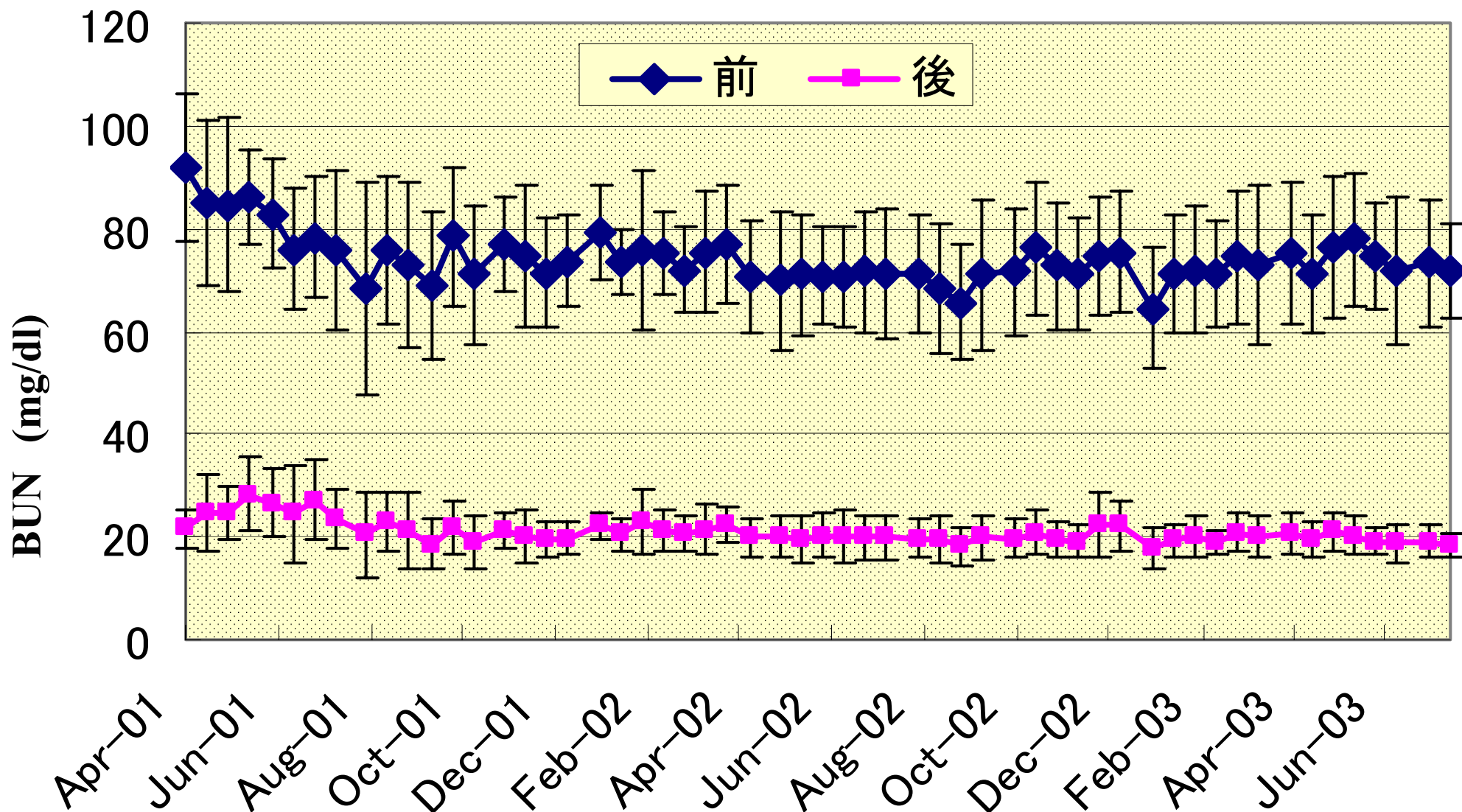
# $\beta_2$ MGの推移 (日付順)



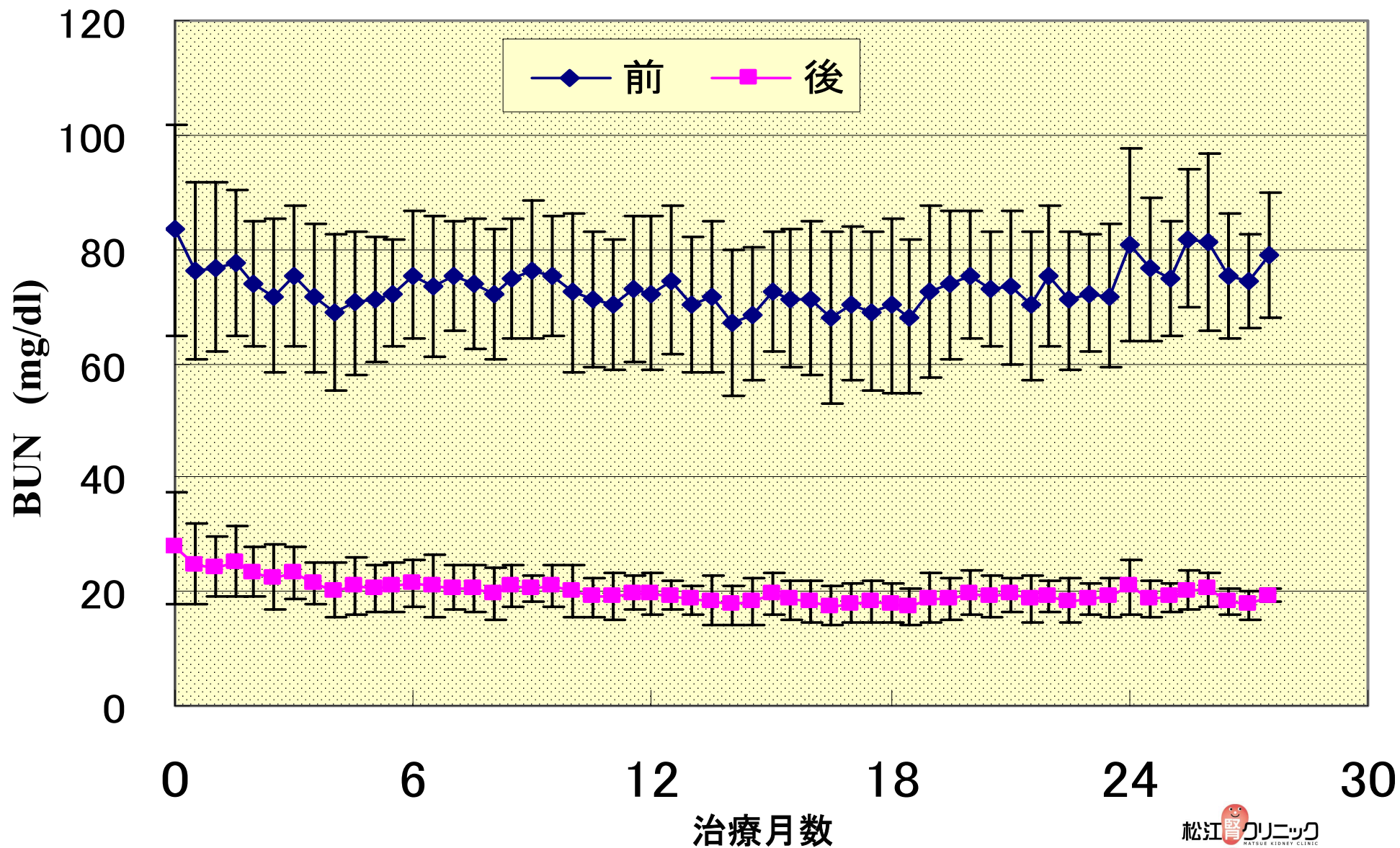
# $\beta_2$ MGの推移 (治療暦)



# BUNの推移 (日付順)

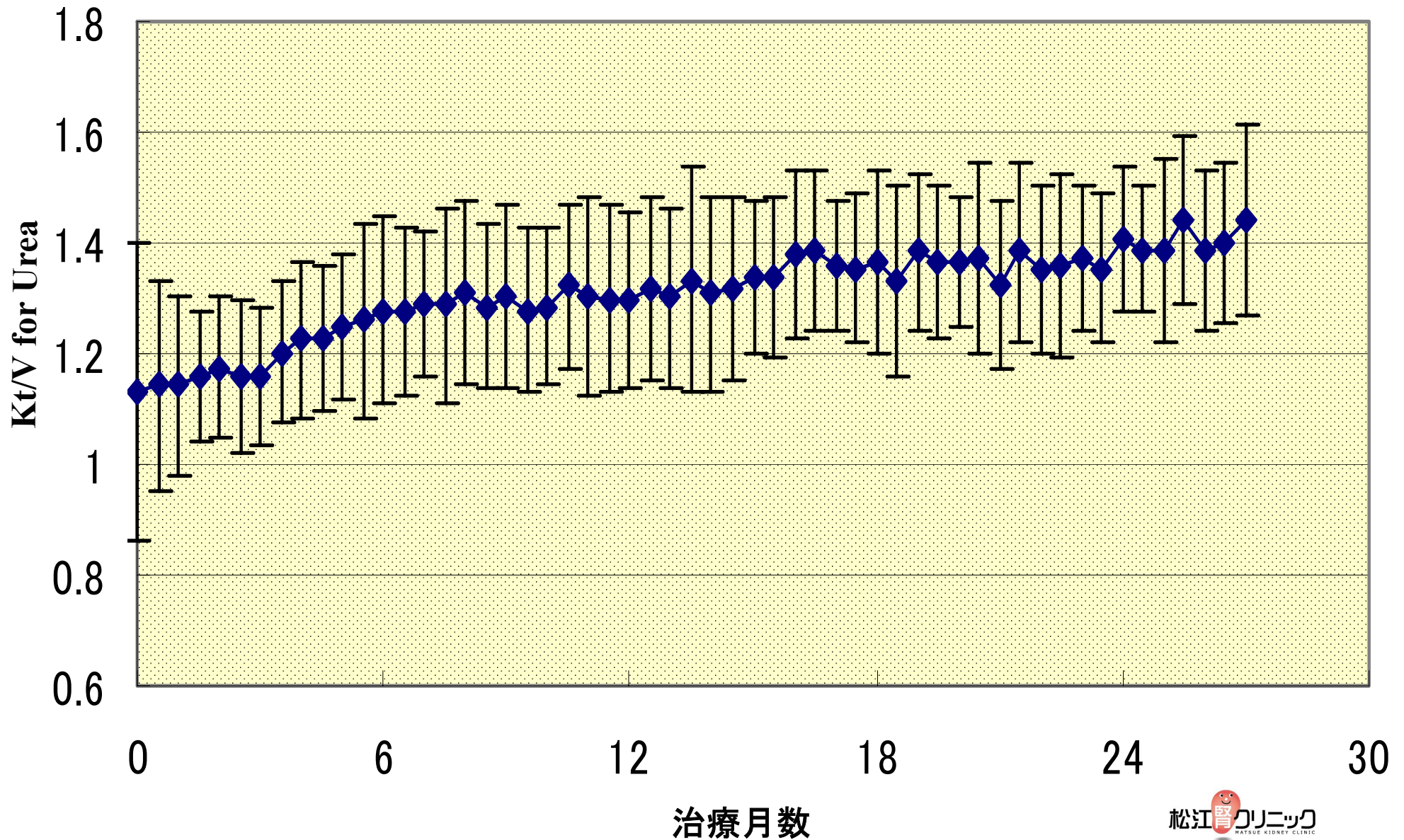


# BUNの推移 (平均, 治療暦)



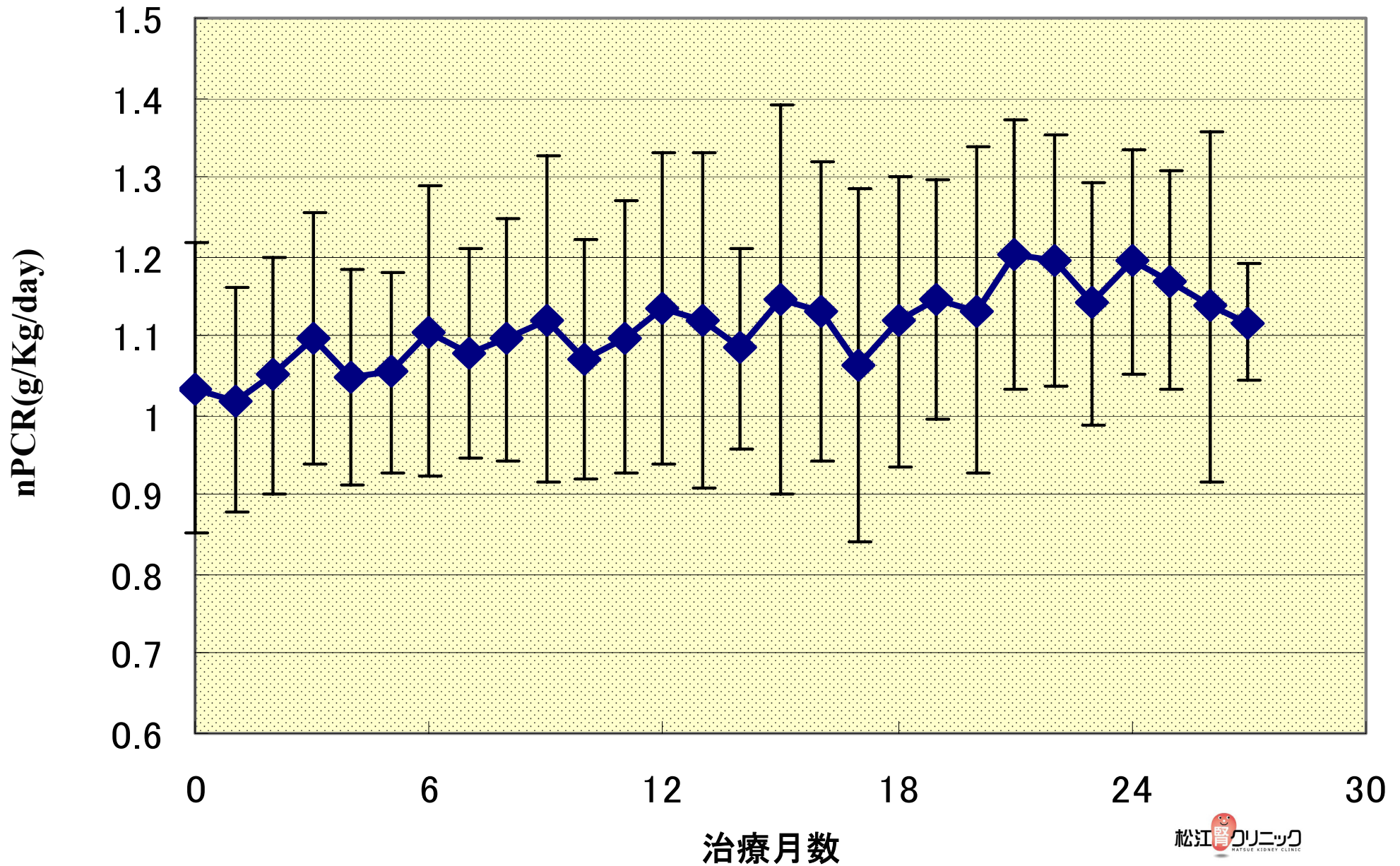
# Kt/V for Urea の推移

Kt/V :  $-\ln(\text{post/pre})$





# nPCRの推移



# 治療設定 1.

2003年7月末

	最小値	最大値	平均	標準偏差
DW (kg)	34.5	72.3	55.3	10.4
QB (ml/min)	180	400	287.3	59.6
QF (ml/min)	100	250	191.5	45.4
QD (ml/min)	250	500	373.8	75.3
QF/QB	0.3	1.1	0.7	0.2
QF/QD	0.20	1.00	0.55	0.22
QB/DW(ml/min/kg)	3.4	7.1	5.3	1.0

# 治療設定 2.

2003年7月末

	最小値	最大値	平均	標準偏差
治療時間(hr)	3.5	5.0	4.1	0.5
総血液処理量(l)	37.8	120.0	71.5	19.5
総血液処理量/DW	0.8	2.0	1.3	0.3
総希釈液量(l)	21.0	69.9	47.3	12.7
総透析液使用量(l)	105	210	140.5	29.4

# ま と め

- 前希釈HDFは患者毎の治療目標に合わせて自由な設定が行え, 有用である.
- ハイリスク患者でも安定した治療が行えるため, 十分な透析が確保され, QOL向上の一翼を担っている.
- 数値目標をクリアする為には,  
4時間治療では体重(kg) × 6 (ml/min),  
5時間治療では体重(kg) × 5 (ml/min)程度の血流量と,  
それに見合った希釈液流量・透析液流量が必要である.